



プラネタリウム投影機、リニューアル!!



星空をきれいに再現

今年9月に、学びの丘プラネタリウムの投影機が新しくなりました。以前よりも光源が明るくなり、鮮明な星空の投影ができるようになっています。発色やコントラストも向上し、臨場感のある星空を再現することができます。

解説機能等の強化

自動でその日の夜空に見える惑星や星座の見所を解説します。また、任意の日時を設定することで、日食や月食などの天文現象を再現することも可能です。その他にも、国立天文台4D2Uプロジェクトのデータ(4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」と同じもの)を用いて、地球を離れた視点から宇宙の姿を見ることができます。

コンテンツ追加

投影機のリニューアルに伴い、右に示すプラネタリウム番組を追加しました。

新投影機の性能に合わせた鮮明で迫力ある映像を見ることで、小学校低学年から一般の方まで、楽しみながら宇宙や天体についての学

習ができます。星空自動解説と合わせて見ることで、星空への興味・関心が一層高まることが期待されます。

<p>NEW!</p>  <p>こぐま座のティオが天の川のピンチを助けるため、ポンプ座まで星空だいぼうけん。 (27分 小学校低学年・家族向け)</p>	 <p>月の満ち欠けや、潮の満ち引きなどの現象を、実写映像とCGを組み合わせて臨場感豊かに再現します。 (28分 小学校中学年～一般向け)</p>	 <p>宇宙の大きさ、謎、不思議。過去から現在へ、現在から未来へ、まだ見ぬ宇宙を感じてみましょう。 (28分 小学校高学年～一般向け)</p>
---	--	---

これを機会に、学びの丘へ学びに来ませんか

学びの丘では、プラネタリウム鑑賞の他、Eサポートによるプラネタリウムを活用した理科の授業を行っています。「星の観察の指導が難しい」「星の観察は天候に左右されるのでやりにくい」など、天体の学習指導に悩んでいる先生方を支援します。

学びの丘Eサポートによる理科授業

【星座早見の学習】

ドームに星空を投影し、星座早見を使って天体を探します。また、星の位置の調べ方も学習できるので、実際に星を観察する前の練習を行うことができます。

【星や月の動きの学習】

プラネタリウムを使ったシミュレーションにより、月や星の動きを確かめたり、月の形によって見える時間が変わること気付かせたりすることができます。

【月の満ち欠けの学習】

観察の視点を地球の外に設定し、地球、月、太陽の位置関係によって月の満ち欠けを確かめることができます。

【天体の運動の学習】

光跡残しの機能を使った日周運動、季節による太陽高度の違い、惑星の順行や逆行等、シミュレーションによって実感を持った学習ができます。

先生方のオリジナル授業

学びの丘スタッフによる授業だけでなく、「プラネタリウムの操作をしたい」「プラネタリウムを活用して、こんな授業をしたい」という先生は、是非お問い合わせください。プラネタリウムの操作説明や教材開発をお手伝いします。

問い合わせ先

＜プラネタリウム鑑賞＞

教育センター学びの丘 プラネタリウム運営係
電話 (0739) 26-3511

＜学びの丘Eサポート＞

教育センター学びの丘 学校支援課
電話 (0739) 26-3494